

No.15

1992年

(平成4年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院同窓会

岡山市紙園地先

TEL (086) 275-0145

(10月10日より)

— 編集責任者 —

同窓会会長 堀内 絹江

量から質への始めの一步

同窓会会長 堀内 絹江

バルセロナの暑い夏は終わりましたが、会員の皆様にはどんな夏だったでしょうか。

同じ岡山出身の有森裕子選手は、六十四年ぶりに人見絹江さん以来の銀メダリストとして、歴史の一コマを飾ってくれました。ちなみに彼女のお母様は学院の職員であり、他人事とは思えません。それにあやかり、私達も母校の歴史の一ページに熱いものを刻んで行けたらと思うものです。卒業生三、〇六一名という量から内容を充実させるために支部が誕生しましたが、これから歩き始める

ところです。一人でも多くの方のお力をお借りしたいと切望すると同時に、母体である総会の持ち方にも目を向け、岡山への里帰りが楽しみになるような、そして有意義なコンタクトの場となるよう支部会との兼ね合いから、時期、場所、内容等について検討してはと考えていますので、本年度総会(別項でご案内)で意見を賜りたく十一月一日には、本部支部役員が顔を出してお待ちしております。また、母校が社会的にも貢献されているその動きを感じて頂けるようご案内申し上げます。



創立20周年記念式で祝辞を述べる 堀内同窓会長

終わりに私の今年の夏休みを紹介させていただきます。たたくと、高校生、在校生と同席し、学院の夏季講習会の医療福祉情報処理講習会に参加して、ワープロに挑戦し時代に遅れないよう勉強しました。来年も何かに挑戦したいと考えています。

第21回学院祭御案内

平成四年度
◆日時 十月三十一日(土) / 十一月一日(日)

※ 同窓会総会出席を兼ねて母校をお訪ね下さい。

平成四年度

同窓会総会——御案内——

◆日時 十一月一日(日) 午後一時—二時
◆場所 母校図書館(第2号館)

※ 同席の方や、同じ職場の会員をお誘い合わせて学院祭への参加を兼ねて奮って御出席下さい。

学院創立20周年を記念して

同窓会員名簿(全会員名掲載)

の発行

昨年創立20周年を記念して全会員二、八八八名(創立以来平成三年三月まで)の名簿を作成しました。会員の住所調査にあたっては、各年度幹事に依頼してご協力を頂き、昨年末に完成し、希望者に有償配付しております。

ご希望の方は、一部二千元(送料共)です。郵便為替によって同窓会事務局までお申し込み下さい。ご協力をお願いします。

学院創立20周年記念誌の発行

学院は、昨秋創立20周年記念誌「ともに生きるために」を発刊しました。

学園歌や学園の四季、学園風景をカラー20ページにまとめ、江草理事長・坂本学院長の挨拶、学園縁故者の祝辞に続いて、I 学院の沿革、II 教育活動、III 学生の動向、IV 各科の教育内容、その心と歴史について、児童福祉(保育)科・介護福祉(福祉)科・福祉情報科・看護(第一・第二)科の移り変わり、V 同窓会長・旧職員・卒業生、在学生の寄稿等が載っており、A4判上質アート紙一〇〇ページにまとめられています。ご希望の向きは、一部三千元(送料共)です。郵便為替によって学院事務局まで「記念誌注文」と記入の上お申し込み下さい。

同窓会役員 本部役員

会長 堀内 絹江 (看 1)
副会長 小林 十四恵 (保 7)

幹事 守屋 礼子 (看 2)
人見 和彦 (関西支部副支部長 2看13)

西野 順子 (看 1)
今谷 功子 (岡山支部副支部長 1)

三浦 都子 (岡山支部副支部長 1看3)
加藤 勝子 (看 1)

今田 京子 (広島支部副支部長 1)
小西 敬子 (広島支部副支部長 1)

健野 悦子 (関西支部副支部長 1)
小坂 啓二 (関西支部副支部長 2看10)

山本 基子 (関西支部副支部長 2)
羽井 佐米子 (看 4)

藤原 新子 (保 12)
田中 睦子 (保 5)

石井 正子 (保 3)
計 監査 石井 正子 (保 3)

同窓会員数

平成4年3月現在

卒業生総数	3,061名
保育科・児童福祉科	778名
福祉科・介護福祉科	139名
福祉情報科	11名
第1看護科	935名
第2看護科	1,198名

福祉情報科は初めての卒業生を出した。

学院創立20周年記念式典及び

記念事業のご報告

昭和四十六年この低國の地に誕生して二十年、昨平成三
年創立二十周年を迎え、盛大に記念式典を挙げ、また数多
くの記念行事、事業を行いました。ここにその一端をご紹
介すると共に、多大のご支援を賜った卒業生の皆様に感謝
申し上げます。

☆ 記念式典

(十一月一日十時三十分～十二時)
多数のご来賓と、教職員、学生六
百余名が列席するなか、旭川荘職員
及び学生約六十名による「ゆずり業
合唱団」のオープニングセレモニー
の歌声のうちに開式。君が代斉唱に
続いて、阪本学院長の式辞、江草理
事長の挨拶、感謝状並びに記念品の
贈呈、来賓祝辞として高田岡山県環
境保健部長ほか各界の代表、堀内同
窓会長、忠田後援会長、学生代表の
挨拶の後、学院歌を斉唱して式典を
終えました。

☆ 記念事業

○「育む(母と子)」のブロンズ像
の建立(十月三十一日)
玄関前庭ロタリー中央花壇に等身
大のブロンズ像が建立しました。こ
の像は、日展審査員・日本彫刻会連
合委員の横山祐三先生が第十三回日
展で特選を受賞された作品「母と子」
で、江草理事長が「育む」と命名さ
れたものです。

母におんぶして貰い得意がっている
幼児。日常生活のなかで垣間見る
母と子の姿。母の深い愛情とその強
い絆の尊さを力強く生き生きと表現
されていて、学院のシンボルとして



学生達を見守ってくれることでし
う。

○記念誌「ともに生きるために」の
発行
開学以来二十年の歩みをまとめた
もので、学院の創設から現在に至る
までをカラー写真、図や表で約百ペ
ージにまとめたものです。(内容は、
別項参照)

○漫画「学院案内」の発行
視覚に訴える学院案内として、本
学院入学希望者向けに、岸かおりさ
んにお願ひして作成しました。

岸かおりさんは、学院第一看護科
五期卒業生で、在学中にデビューし、
卒業後は病院看護業務のかたわら
漫画をかくておられました。いまは
看護婦経験を生かした興色の漫画
家として活躍中です。現在雑誌「月
刊ナッシング」に学生時代を背景に
した「天使のたまご」を連載され
ていますが、単行本も発行されて
います。

○学院の環境整備
創立20周年記念事業として、正門
及び前庭の整備、ピロティ・通路
の改修、図書館の玄関もステンドグ
ラスを加えた外観を含む改装等を行
いました。

☆ 記念行事

○記念講演会
「癒しの心 祈りの心」(式典当
日・学院講堂) 講師 榊原健男
先生 元上智大学学長
人間及び神への思いを通して生
命の尊さを、タリスタンであり
有名な物理学者としての高遠なこ
学識と豊富なご体験に基づいたお
話して学生達をご教示下さいまし
た。

○「日本の大学教育の比較」(十一
月十一日・アートホテル) 講
師 千葉ルズ・ニージ・ホリ
オカ先生 大阪大学経済研究所助

教授

県下高等学校の校長先生や進路
指導担当の先生方を対象に開催し
ました。

○「これからの医療と看護」(二月
十八日・三木記念ホール)

講師 森 日出男先生 藤田保健
衛生大学七東サトリウム病院院長
学院が日ごろお世話になってい
る実習病院等の医師、看護婦さん
などを対象に、今後の医療と看護
のあり方について、豊富なご経験
と実践例を交えたご講話で参加し
た福祉・医療関係者の皆様に深い
感銘を与えていただきました。

○記念音楽会「吹奏楽とピアノに
よるゆずり業コンサート」(三月
十四日・岡山シンフォニーホール)
演奏 大阪市音楽団 指揮者 金
洪才氏、ピアノ 新田水子氏
県下の高等学校・中学校の吹奏
楽部員や生徒さん達、福祉施設の
皆さん約千人をお招きして、本格
的な素晴らしい吹奏楽やピアノの
演奏を楽しんでいただきました。

棟の建設

去る八月十八日、学院南の建設予
定地において、江草理事長を祭主と
した式典による地鎮祭を行い、介護
福祉棟の建設が地盤につきました。

学院では、昭和六十二年「社会福
祉士及び介護福祉士法」の制定と同
時に設置した一学年入学定員五十名
の介護福祉科は、各界からの期待と
要望を受けて、現在までその教育を
推進してきましたが、今後の社会福
祉の充実発展のため、定員を百名に
増員して一層教育の充実を図るため
新校舎の建設に踏み切りました。

新校舎の概要：敷地面積(五四七
㎡)、鉄筋二階建て(二二・七・五
㎡)の校舎に、普通教室二室、介護実
習室、入浴実習室(給湯設備付き)、
和室、調理実習室、演習室各
一室のほか教育室、水洗便所等最新
の設備と機械器具等を備える。



学院だより

★ 入試情報

介護福祉科の定員増
長寿社会に向けての老人及び障害
者のお世話が主たる業務である「介
護福祉士」資格取得者の要望に応え
て、現学院横に新校舎を建設し、入
学定員を五〇名から一〇〇名に増員
(申請中)する。

入学試験期日の決定
(全学科同日)

推薦入試 十一月 八日(回)
一般二次入試 二月二十四日(回)
一般二次入試 三月 八日(回)
試験場 本学院(推薦のみ那覇
市でも実施)
○入試要項・願書は学院入試事務
室宛、郵便で(六〇〇円)同
封の上請求して下さい。

★ 主な年間行事

入学宣誓式(4月4日)
児童福祉科4名、介護福祉科54名、
福祉情報科22名、第1看護科90名、
第2看護科57名、総計二七五名が入
学されました。

修学旅行(9月1日～4日)
各科の2年生と第2看護科1年生が
合同で実施。北海道南部、関東(東
京・埼玉)、高知、神奈川の4方面へ
希望別に参加し、行き先で社会福祉
施設や病院の見学、交流を行います。
就職式(10月16日)
第1看護科、第2看護科の1年生が
看護婦への道へ進む決意を祝す。
学院講堂にて。

キャンドルサービス(10月20日)
児童福祉科、介護福祉科、福祉情報
科の各1年生が福祉の道へ進む決意
を祝す。学院講堂にて。

第21回学院祭(10月31日～11月1
日) 学院生の自主的活動によって
実施。同窓会の皆様、総会もありま
すので多数お出掛け下さい。

卒業委員会(2月26日)
児童福祉科2年生の学習の総まとめ。
石関町の岡山県総合福祉会館にて。
卒業証書授与式(3月15日)
学院講堂にて。

★ 人事異動について (四月一日付)

○退任の先生
介護福祉科 柚木 恒子先生
(愛育寮へ転出)
看護科 山本 玉起先生
片岡しなよ先生
風早 信子先生
藤川智枝子先生
林 真弓先生
(七・三一)

○新任の先生
看護科 野木 満先生
(八・三一)
図書館 吉岡 一由先生
顧問 鴨野 元一先生
入試事務室長 斎藤 伸英先生
介護福祉科 福永 英彦先生
看護科 板野みえ子先生
谷野 謙子先生
松村望東美先生
坂田 清美先生
福祉情報科(事務室業務) 中田亜紀子先生
図書館 高田 理恵先生

支部だより

岡山支部だより

岡山県支部長 田中幸子
秋の候を迎えました。すっかり
秋らしくなりましたが、同窓生の皆
様にはいかがお過ごしでしょうか。
支部の現況としては、昨年の同窓
会名簿の作成に本部役員の方と一
緒に協力させて頂きました。
来年始めには、同窓会だより第14
号でお知らせしたとおり第三回支部
会を開催する予定にしております。
開催にあたって皆様からのご要望、
ご意見などございましたら、母校事
務局までご連絡下さいますようお願い
いたします。

広島支部だより
広島支部長 加藤勝子
同窓生の皆様お変わりなくお過ご
してでしょうか。広島支部では、四月
二十九日に役員会を開催し、来年度二
月または三月に第二回目の支部総会
を岡山方面で持ちたいと相談しまし

関西支部だより

國西支部長 小西敬子

職場であるいはご家庭で皆様顔強
つておられることと存じます。
昨年五月に、多年の念願であった
関西支部が結成されました。来年は
総会の年にあたります。第一回目は
四十名と出席者が少なく、役員も反
省したり、気落ちしたりでした。今
後、会を盛り立てていくには、皆様
方の絶大なご支援が望まれます。
来年の総会は、前回と同じく五月
に同じホテルコンソルトで開催する
予定です。ご案内が届きましたら同
期生どうし声をかけ合い交友を深め
る機会にするなど、お話しあわせて
ご参加ください。皆様方のご多幸と
ご発展をお祈り致します。

❖ おたより ❖

◆保育科・児童福祉科◆

保育科森本文子（新見市）
第2期生（旧姓小田）

堀田会長さんをはじめ役員の皆様いつもありがとうございます。同窓会だよりを楽しみに拝見しています。学院を卒業して、もうすぐ二十年度ですが、今年こそ同窓会にと思いつつ、まだ一度も足を運ばないでいます。保育科3期のタラスマート一人ひとりの顔や声が、よみがえってきます皆さん、お元気ですか？

私の方は、七年間勤めた津山みのり学園を結婚と同時に退職して、再び福祉の現場で働くことはないだろうと思っていましたが、縁あり三年前より特養老人ホーム花園荘に勤務するようになりました。明るくて楽しい職場で頑張っています。来年度には、増床、デイサービス開所と活気のある中、少々、年を感じながらも、この生活がやっぱりいいなあーとつくづく思っている今日この頃です。家族の協力に感謝！時折、旭川荘」ということを耳にするたびなつかしく、そして誇らしい響きを

胸に我が母校が益々発展することをお祈りします。

保育科氏平 成子（久米郡旭町）
第2期生（旧姓 山本）

大森ごぶさたしています。保育園
2期生の皆さんお元氣ですか。
私は、保育園に十一年つとめた後
農家に嫁ぎ七年、六才・四才・二才
の子と牛の出産を手伝ったり、トマ
トをつくったり、米をつくったり、
野菜づくり、雪かきといろいろの経
験をし、子供といっしょに自然の感
しさを、やさしい、力強さなど学ん
でいます。農業は決して楽ではありません
せんが、一番人間らしい生き方では
ないかと思っています。こちらへ来
られましたら、ぜひお立寄り下さい

第8期生(旧姓山根) 惠(邑久郡邑久町)

現在の職場（保育園）に勤めるようになって十年目（内三年育休でブランクが多いが）中堅と呼ばれるようになって、若さと言う魅力を生ない、体力の低下を感じながら、これから保母としてどうあるべきか、そしてもう一つの問題、我が子の育児、はたして十五年後、母親としての合格通知が来るだろうか……だ、ただ、親の背を見て育つ」と自分言いきかせています。

保育科市川典子(御津町)
第9期生(旧姓北谷)

9年生のみな様お元気ですか？
早いもので卒業してから十一年も
たつてしまいましたね。
私は、今もなお旭川莊愛育寮で働
いています。家庭と仕事の両立は難
しく、学生時代、鴨野先生から「只
本一の母ちゃん」と言われてまし
たが、「それには、ほど遠いなあ」と、
あの言葉を思い出すがに思っ
ています。しかし、家族の理解と協
力を得て働かせていただいているこ
とに感謝し、自分自身を励ましてい
る毎日です。時には子育ての面や仕
事の面で悩み、ストレスのたまるこ
ともありますが、そんな時は後輩達
とカラオケに行つて、大声で歌つた
り、大好きなピアノを長女と一緒に
弾いたりして解消しています。
良き家族、また良き先輩、後輩に
恵まれた中で、今後も頑張ってい

つもりです。
みな様もお元気で、またお会いし
ましょうね。

児童福祉科
第20期生
藤波 典子
（邑久郡
長船町）

学院を卒業して、はや四ヶ月がたちました。学院の先生方、児童福祉科20期生の皆様方お元気で過ごして下さいようか。

新刊現在、六十歳定員の保育園で、
 良き先輩保育士と二歳児十名を担当
 しておられます。四月当初は、学院で
 学んだことと園との方針にギャップ
 があり、私なりにいろいろと悩まし
 ましたが、今では楽しく毎日を過ごし
 ております。想像していた以上にハ
 ードな職場ですが、本当に子ども達
 は可愛いく、又教えられることもた
 くさんあります。これから困難なこ
 ととも数多くあるかと思いますが、我
 慢・忍耐・辛抱"で頑張っていこう
 と思っています。

◆ 福祉科・介護福祉科 ◆

福生科
臨田 純子（岡山市
第1期生）

一期生のみなさんお元気でしょう
か？ 早いもので卒業をしてもう三
年になります。

私は今、老人保健施設でがんばっ
ています。就職したばかりの頃は生
輩達についていくのが精一杯で毎日
が無我夢中でいたが、三年目にもな
ると仕事にも慣れ自分自身に少しゆ
とりが出て来ました。疑問に思っ
ていた事が今は当り前の様に仕事とし
てこなしている自分がいて、実習生
さんが来るのと反省と初心に帰らな
る気持ちになります。だんだんと老
人の方も重役化してきており、その
上職員の人手不足、本当にこの仕事
を続けるのが難になる事もたびたび
あります。そんな時お年寄りの。あ
りがとう。の声と笑顔で救われま
す。仕事は自分で楽しくしなくちゃ
もしろくない。これからも自分なり
に努力してがんばっていきます。同
期のみなさんも、いろいろとあると

分譲福祉科 佐藤呼津恵 (井原市
第3期生 丸山 裕美)

介護福祉科3期生の皆様、諸先生
方いかがお過ごしでしょうか。

学園で働き始め、早五ヶ月が過ぎました。初めの頃は、業務内容把握するのが精一杯でしたが、やつと眼に目を向けられる様になりました。今改めて指導する難しさ、奥深さを感じております。楽しい事ばかりではありませんが、がんばっていきなすと思えます。

皆様に気を付けて、がんばって下します。

介護福祉科
第3期生
三宅 正恵（岡山市）

早いもので、就職してから五ヶ月の日々が過ぎてしまいました。私は、旭川児童院うめ病棟に勤務しています。職場の方も入所者の数も素晴らしい方ばかりです。私は毎日、何事にも一生懸命取りくんでいくだけでなく、一日一日を楽しく過ごすことができます。施設の仕事に就いて本当に良かった、と思っています。これからも入所者の方を第一に考え、自らが向上心を忘れず成長していきたいと思っています。

介護福祉科 横部 理恵（岡山市
第3期生）

特 養護老人ホーム若宮園に就いてから、はや五ヶ月が過ぎようとしてゐます。今、自分が介護福祉士という資格をフルに活用しているかときかれたら、自信を持って「はい」とは言えません。

現在の福祉の理念と実際には大きなギャップがあります。それを少しでも縮めていくことが、今の私達の役割ではないかと思ひます。

これからも学院で学んだことを生かして、がんばっていくつもりです。

◆福祉情報科◆

福祉情報科 高田 理恵（倉敷市第1期生 中田亜紀子（岡山市）に就職し、早いもので半年が過ぎ

みなさんお元気ですか。

私たち二人は学院を卒業して学院に就職し、早いもので半年が過ぎ

◆福祉情報科◆

福祉情報科 高田 理恵（倉敷市）
第1期生 中田亜紀子（岡山市）

みなさんお元気ですか。
私たち二人は学院を卒業して学院に就職し、早いもので半年が過ぎ

「勝手知ったる」とはいいいながら、学生の時とは全く違う雰囲気にとまどいもありますが、多くの諸君生方に支えられ何とか頑張っています。

私を情報科一課生は卒業し、卒業しからすでに六月と八月の二回も同窓会を開きました。それぞれに仕事の悩みなどもあるようですが、なんとか頑張っているようです。これからもう年に二回は、みんなで集まれたらと思います。ちなみに次回は十二月に集まる予定です。

社会人一年生のみなさん、一緒にがんばりましょう。たまにはグチをこぼしながら……

◆ 第1看護科 ◆

第1看護科吉田由美子（倉敷市）
第1期生（旧姓 難波）

早いもので保健婦になり十年が過ぎました。転勤のある職場のため田舎の所へ(福祉地域保健所)でも三所あります。転勤のたび心身ともストレスになります。新たな発見があったり、学ぶことも多いのでおもしろいですよ。年数だけは上になり職場でも中堅ということ、その責任の重さをヒシヒシと感じているこの頃です。

い長男（四才）と愛想だけがとりとりの長女（一才七ヵ月）に振り廻わされ忙しうござしています。「子育て」ってとっても難しいですね!! ゆったりと感情的にならず振舞うことが今の私の課題です。

仕事と家庭の両立は本當にたいへんですが、選んだ道ですのでマイペースでやっています。皆様もお元気で、それぞれの分野で活躍下さい。

第1看護科 富地 竹子（広島県第3期生（旧姓 渡辺） 広島市

皆様お元気ですか。

私は卒業後四年間の病院勤務の後退職し、因島へ来て六年になります。現在は縫製業をしている主人と結婚。四才の長男と二才の次男は保育所のお世話になり、私は仕事を手伝っております。おかげで不器用な私も自分の服を縫えるようになり、子供が

第1看護科 宮地 竹子 (広島県
第3期生 (旧姓 渡辺) 因島市)

皆村お元氣ですか。
私は卒業後四年間の病院勤務の後退職し、因島へ来て六年になりました。現在は縫製業をしている主人と結婚。四才の長男と二才の次男は保育所のお世話になり、私は仕事を手伝っております。おかげで不器用な私も自分の服を縫えるようになり、子供も

ちにお揃いの服を作ったりするのが何よりの楽しみでした。正直なところ家庭をもちながら看護婦を続け、病院でバリバリ働かされている人々をうらやましく思いますが、今は自分と与えられた場所と精一杯頑張っていることだと思っています。学院で学んだ事、短い看護婦生活での経験は、現在もまた、これからは役立つことだと思います。

皆様お元気で御活躍下さい。1期3期生の皆さん、またいつかお会いできる日を楽しみにしています。

第1看護科 越智 沙織 (岡山市)

第一看護科十期生のみなさん、卒業して早くも三年目となりましたが、それぞれで御活躍のことと思いをこの六月末で退職し、十月に華式を控えた花嫁修業中です(彼は、みなさん御存知の学生時代より交際していた人です)。結婚後は再びナースの道を歩きたいと思っています。みなさんも健康に気をつけて頑張って下さい。又、お逢いする日を楽しみにしています。

第1看護科 久山加代子 (岡山市)

学院の先生方、先輩の方々十二期生のみなさんお元気ですか？ 私は、川崎病院のICUに就職しました。看護婦一年生として又社会人一年生となってみてみなさんどうですか？ 私は一重に「大変」です。ICUという場所が独特の看護を必要とされ、日々勉強しないと、どうしようもないのが現実です。学院にいたころより頑張っているところある先生に言ったら、ラッキーなめぐり合わせですねと褒められてしまいました。就職してまだ半年すぎた所なのに、行きづまるのが多々あります。けど、そのたびに先輩に相談したり、同期の自分に相談したりして、逃げないよう自分に言いかけたり頑張っています。今は継続教育がはじまり、同期のみなさんがやとそろそろ時なので、もっとしながら教育を受けています。みなさんもお忙しいとは思いますが、体には十分気を付けて頑張って下さい。又お会いでき

るのをたのしみにはしています。

◆看護科・第2看護科◆

第3期生(旧姓 片桐) (白井町)

看護科 藤本 秀子 (千葉県)
学院卒業生のみなさんお元気ですか。早いもので学院を卒業して十年が過ぎました。

私は、途中子育ての為四年間現場を離れたましたが、何とかナースをしておりま

す。毎年同窓会だよりをたのしく拝見してあります。私も日本全国で頑張っているみなさんに負けたくないよう、がんばろうと思っております。近くにおこしの節には、ぜひ一声かけて下さい。

看護科 野田しのぶ (愛媛県)

第3期生 朝夕は少しのぎよくなりま

すが、まだ日中の暑さには暑さを感じます。皆様お元気であらうかしやいますか。

私は、看護科の3期生です。卒業して十九年が経ちました。早いもので、すっかり腰をおこつた生活をなさっているのではないですか。私はまだ定住できないで、うろろろして

おります。今は愛媛県にいますが、そろそろ四年目です。で住所が変わるかもしれないです。早く落ち着いた生活を皆様の健康とますますのご活躍を祈っております。

第2看護科 山下智恵子 (熊本県)

第8期生(旧姓 荒木) (水俣市)
皆さんお元気ですか。卒業して十三年になります。皆さんもそれぞれ頑張っているのですね。

私も子供四人(女一人・男三人)授かり、日3・6月より縁あって地元で看護学校に勤めさせていた

ております。毎日学生と接する事により、私達が学生時代に指導にあたっていた先生方、御苦労が身にしみて

わかるようになった今日この頃です。まだ未熟な私ですが、看護することの楽しさを学生達へ伝えて行けるよう日々努力していきたいと思

ります。また、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。皆さんもお元気です。さようなら

第2看護科 鹿山 敏子 (福岡県)

第2看護科8期生の皆様こんにちは。わ/日々の流れは早く卒業後十数年が経過しました。

今年はおリンピック等で岡山地方の話題も多く、同時に学院生活もなつかしい思い出しています。医療内外のいろんな分野で皆様は切切

とおられる事と思います。私は整形外科・脳外・外科等より返ってみれば外科道を歩んで来たのだな

と感じています。現在救急も含めた外科病棟に勤務中ですが、過剰医療に少々悩んでいます。皆様はどうですか？

福岡市西区は都心から少々離れた所にあります。近くには山あり、海あり、住宅ありでマアマの環境です。来福の折には、どうぞ我家にもお立ち寄り下さい。

第2看護科 森川由美子 (姫路市)

第10期生(旧姓 松田)
卒業しては十年がたちました。

皆さん、お元気ですか。私は、いま精神科に勤務していま

す。最初は緊張してとまどいながらも何年かたつうちに病院にもなれて

きました。そのうちに社会の中で「病」をもつて生きることのむづかしさ、差別、偏見など、一般科の看護とはちがう側面を知り、改めて精神科の看護とはなんだろうと、考えさせられます。

「病」をもつていきっていくかざるをえない人も、社会の中で共に生きる

ことのできる世の中になってほしいと思っております。

第2看護科 見村 芳恵 (倉敷市)

第10期生 10期生の皆様こんにちは。お元

気でしよ。卒業後、皆様御立派にな

りました。私も時折学院にお邪魔して

年々学院も変わり、新しい校舎、新

しい科、最近福祉情報科も増え、

心よりうれしく思っています。10期生の皆様も十一月の学院祭・同窓会

総会に御出席出来る方がありました。集おうではありませんが、御出席

出来る方は、倉敷市玉島黒崎一四八

〇見村芳恵に御連絡下さい。景山

先生にも御連絡して皆様と一緒に

会いましょう。女盛りをしている

方々よろしく。

第2看護科 松本千代子 (倉敷市)

第10期生(旧姓 松田)
御無沙汰をしておりますが、学院

長先生をはじめ各諸先生方、また、

第十三期の皆さんお元気でお変わり

なくお過ごしでしょうか。私は、

夢と希望にみちてサクラの門をくぐ

り、クラスメイトと味わった喜び、

悲しみ、泣いたり、怒ったりしたこ

とが今では懐かしい思い出です。そ

して七年の間、結婚をし共働きをし

ながら人生の楽しみを味わうと共に

人の心、立場、思いを大事にすること

とを日々の生活の中から学んでいる

状況です。

先生方のお顔を拝見しにまた学院

の門をくぐり、お会いできる時を

楽しみにしています。

第2看護科 岡田 聡子 (尾道市)

第10期生(旧姓 石井)
卒業して早や六年がすぎようとし

ています。

子供達も五歳と一才になりました。

現場を一年離れると、かなり大変で

したが、なんとか産婦人科病棟で頑

張っております。

義母が亡くなって三年……。家事

育児、仕事といろいろなことがすべ

て自分の負担になり、行きづまった

こともありました。でも子供達の笑

顔をみると、さあ！頑張り。一と

力がかかります。

時々ふとアルバムを出しては、

あの頃のことを懐かしく思い出して

おります。三十を前にして中堅タラ

スになる自分を、もう一度みつめ直

し、日々を大切に生活していこうと

思っています。

皆様お元気になさってますか？

又、お逢いしたいです。

第2看護科 京谷真由美 (和気郡)

第15期生 卒業後約六年、中堅Na(ナース)

として、日々の業務に追われていま

す。その中で接するフレッシュNaの

持つ純粋さ新鮮さは、羨ましくもあ

り、また、良い刺激となっています。

医療の在り方や倫理が問われる時

代、私の勤務する病院も脱皮、変革

を遂げようとしています。一人のNa

とじて、どれだけ貢献できるか？

編集後記

〇同窓会顧問が代わりまして、岡本克敏が担当します。堀内会長さんはじめ各役員の皆様のご支援を頂戴し、また、長安一郎先生もまだ学院におられましたので、ご指導を頂戴してお手伝いをさせていただきます。〇台風にはしばしば見舞われた夏も終わりました。これからは天高く、秋の候と申し、文化や体育による季節です。健康第一に。〇たくさんさんの「お便り」有難うございました。今後とも引き続き「同窓会だより」をごひいきに。〇住所の変更のご連絡をぜひお願いいたします。でないか「同窓会だより」が届けられません。現在二〇〇名の方に同窓会だよりがお送りできなくなっております。